

諸 行 動・諸会議名	第 93 回 運輸の日
開 催 日・実 施 日	2017年05月11日 (木)
開催場所・実施場所	東神トラックステーション
内 容	アンケート調査 36 件回収 (55 配布)
出席者・行動者	今井 勇 (ヤマト運輸労働組合厚木支部) 小久保 誠 (日通湘南物流労働組合) 原 健一郎 (セイノースーパーエクスプレス労働組合京浜支部) 鈴木 善夫 (ヤマト運輸労働組合横浜支部) 青木 智子 (ヤマト運輸労働組合厚木支部)



本日 4 日目、晴天に恵まれましたが、今日は、暑すぎ！という中、5 人で行動しました。本日の行動には、青木（ヤマト運輸労働組合）さんにも参加いただきました。やはりこういった行動は、女性がいいですね。

夏を思わせる様な好天に恵まれた統一行動でした。いつもより駐車スペースに空きが有りましたが、アンケートに快く答えて頂きました。毎回野良犬を追い払う様に「しっし、」などの事をされる事は有りませんでした。

現在、東神トラステは休業中で食事もシャワ

ーも使えない状態 何人ものドライバーが風呂道具を持ち建屋に入って来ましたが、とても残念そうでしたよ。やはりトラックドライバーも人です、風呂やシャワーを浴びて爽快な気持ちで運行をしたいのでは無いのでしょうか？ トラックドライバーも製造業者やホワイトカラーの人達と同じ赤い血が流れています。黄色や緑色の血では無いですからね そこを良く理解して下さいね。

記事：小久保 誠



今井：運輸の日、4 日目、晴天で大変熱い活動となりました。毎日施設が閉鎖されているための問い合わせをされ、トラックドライバーさんがとても気の毒でなりません。また賃金も 300 万円以下の方、労働組合のない会社も多数ありました。地道な活動を継続して、労働組合への加入、労働組合の存在意義を伝えたいと思いました。

鈴木：本日は非常に暑く肉体的に大変厳しい中での組織拡大行動となりました。開始時点では駐車スペースの空きもありましたが正午あたりには全て駐車となる現状の下、アンケート調査を行うことができました。調査結果としては調査した全ての職場に労働組合がなく会社に対しては現状に満足しているので意見と要望はないとの事でした。悪条件でも当たり前になっていると感じました。





青木：今日の運輸労連の活動では、トラックステーションにてトラックドライバーへアンケート調査を行いました。真夏日のような暑さの中、ドライバーの労働環境の実態を把握するべく、6名で活動しました。途中、『月刊労働組合』の編集長から取材を受け、宅配便のドライバーの状況をお伝えし、毎日時間帯指定に追われている現実と、配達し切れないほどの荷量に悩ませれ、休憩が取れない状況である事を伝えました。早く働き方改革が進み、ドライバーの環境と給与の底上げが改善出来るようになっていけたらと思いました。



原：天気が良く、駐車スペースもある程度の余裕があるなかアンケート調査を実施しました。連日行われているため、もう済んでしまっているドライバーさんも多かったのですが、快く応じてくれるかたが増えたように感じました。トラックステーションの食事処とお風呂が閉鎖されているためか、施設改善の要望が多く出て、地方の道の駅を利用する際、一般車と混在の危険がありなんとかして欲しい等切実な要望が聞けました。また、ドライバーの高齢化もかなり進んでいるのが率直な感想です。若者を増やすには、労働環境改善、賃金引き上げ、更なる中型免許緩和が必須と感じました。



